



中国株ウィークリーレポート

2020/3/9

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	25,864.78	-256.50	-0.98	1.79	-9.37	28,538.44
NASDAQ	8,575.62	-162.98	-1.87	0.10	-4.42	8,972.60
日経225	20,749.75	-579.37	-2.72	-1.86	-12.29	23,656.62
上海総合	3,034.51	-37.17	-1.21	5.35	-0.51	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,138.51	-68.22	-1.62	5.04	1.02	4,096.58
ハンセン	26,146.67	-621.20	-2.32	0.06	-7.25	28,189.75
中国企業	10,456.93	-271.14	-2.53	1.50	-6.37	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.1%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は5.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.1%高と小幅ながら3週ぶりに反発。新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けた景気減速懸念と中国政府による景気対策期待で神経質な展開が続いた。米FRBの緊急利下げを受けて中国も追随するとの観測が浮上して投資家心理を支えた一方、米株の下落や欧米での新型コロナウイルスの感染拡大が相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で5.4%高と大幅に反発した。上海総合指数は4日に節目の3000ポイント台を回復。5日には約1カ月半ぶり高値をつけた。

今週の展望: 香港市場は売り先行か、海外の新型コロナウイルス感染拡大が引き続き重しに

香港市場は新型コロナウイルスの感染が欧米をはじめ世界各国に拡大するなか週初は売りが先行しそうだが、その後は世界各国の金融緩和や景気対策への期待で底堅い展開となりそう。中国の経済指標に対しては仮に弱い内容だったとしても景気対策への期待で相殺され、反応は限定的となる公算が大きい。逆に決算発表銘柄については新型コロナウイルスの影響で1-3月期決算への警戒感が高まりそう。一方、本土市場は先週の急反発を受けて週初は利益確定売りが先行しそうだが、景気対策への期待から底堅い展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	12.32	9.22
2 申洲国際集団(02313)	102.90	7.47
3 舜宇光学科技(02382)	128.60	6.11
4 石業集団(01093)	18.72	5.41
5 恒安国際集団(01044)	60.70	4.93
6 万洲国際(00288)	8.31	4.92
7 中国蒙牛乳業(02319)	29.25	4.65
8 中国神華能源(01088)	14.10	4.29
9 中国海外発展(00688)	27.00	3.25
10 瑞声科技(02018)	52.60	3.04

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ハンセン銀行(00011)	147.10	-9.48
2 HSBC(00005)	50.65	-4.70
3 ザス・ファイ(01928)	34.70	-4.28
4 中銀香港(02388)	25.65	-4.11
5 香港鉄路(00066)	42.65	-2.74
6 シバツク(00386)	3.93	-2.24
7 長江実業地産(01113)	47.75	-1.95
8 信和置業(00083)	10.40	-1.89
9 長江和記実業(00001)	66.60	-1.84
10 ファイ・モバイル(00941)	60.50	-1.31

▼今週の主なイベント

- 3月10日(火)
- 【中国】CPI、PPI(2月)
- 3月12日(木)
- 【欧州】欧州中央銀行理事会

▼今週の期待材料

- ◆中国国内の新型コロナウイルス新規感染者が6日以降は100人以下で推移、8日の新規感染者は40人まで減少
- ◆中国政府が5Gネットワークやデータセンターなどの新型インフラ施設の建設を加速する方針を発表
- ◆新型コロナウイルスの感染拡大を受けて各国が金融緩和を検討、中国でも追加利下げへの期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆新型コロナウイルスの感染が世界約100カ国に拡大、米国でもカリフォルニア州などが緊急事態宣言を発表
- ◆新型コロナウイルスの影響で中国の1-2月の貿易統計が悪化、米ドル建て輸出は前年同月比で17.2%減少
- ◆新型コロナウイルスによる企業業績への影響に警戒感、1-3月期は多くの企業で業績に悪影響が出る見通し

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ AIAグループ(01299): 12日に19年12月本決算を発表、市場予想は純利益倍増
- ☆ 舜宇光学科技(02382): 9日付で中国企業指数の構成銘柄に採用
- ☆ 中国銀河証券(06881): 2月の営業収益が75%増加、純利益は86%の大幅増
- ★ 太古A(00019): 12日に19年12月本決算を発表、市場予想は39%減益
- ★ 越秀地産(00123): 2月の不動産販売額が46%減少、販売面積は53%減
- ★ 国業控股(01099): 1-2月は新型コロナウイルスや薬価引き下げの影響で純利益半減の見通し
- ★ BYD(01211): 2月の新車販売台数が80%減少、新エネルギー車は81%減
- ★ 中国人民保険(01339): 9日付で中国企業指数構成銘柄から正式に除外
- ★ 中国中車(01766): 9日付で中国企業指数構成銘柄から正式に除外
- ★ 碧桂園(02007): 2月の不動産販売額と販売面積が半減、1-2月の販売額は28%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。